

トピックス

20年度決算、事業報告などを原案通り可決、承認

国保連合会通常総会



本会通常総会は、8月5日（木）、国保連合会に37保険者の代表が出席して開かれ、平成20年度事業報告、一般会計、各特別会計歳入歳出決算ほか諸議案を原案通り可決、承認した。

総会では、栗山正・理事長（亀岡市長）が、挨拶の中で、「平成20年度事業は、おおむね所期の目的を達成することができた」として、府や各保険者の協力に感謝した。また、医療制度改革に係る後期高齢者医療制度の創設や、特定健診・特定保健指導の実施等を行い、一層の保険者支援、会計処理の厳格化、効果的な財政運営に努めたことを報告した。

山田啓二府知事の祝辞（重松府健康福祉部副部長代読）が披露されたあと議事に入り、議長に田辺正男京都建築国保組合理事長を選出した。議事録署名人には真鍋宗平大山崎町長と森清美酒販国保組合理事長を選任した。



議案は、平成20年度報告承認事項7件、同年度報告事項1件、さらに平成21年度議決事項11件、同年度報告承認事項5件、同年度報告事項3件で、事務局の説明、監査結果報告のあと、いずれも原案通り可決、承認した。閉会挨拶は汐見明男副理事長（井手町長）が行った。